東浦町の教育、学術、文化及びスポーツの振興に関する総合的な施策の大綱

【2026 年度～2029 年度】

2026 年２月改定

東　浦　町

東浦町では、2015 年４月１日に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正を受け、2016 年３月から「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」を定め、町の教育行政を推進してまいりました。その後、ＡＩをはじめとした技術革新や社会のグローバル化、価値観の多様化、更には大規模災害の発生や感染症の拡大など、学ぶ場を取り巻く環境は大きく変わってきています。このような状況において、自ら「生きる力」を意識して身につけることが一層重要となっています。

「生きる力」を育むためには、子どもたちが知性豊かで健やかに成長できる学校教育の環境整備はもちろん、悩みや苦しみを抱える子どもたちを応援し、支える取り組みも欠かせません。また、すべての住民が生涯にわたり健康で豊かな生活を送るためには、互いに支え合いながら学び続ける場としての「生涯学習」が重要です。そのため、ライフステージに応じたバランスの取れた誰もが学ぶことができる場、誰もがチャレンジできる環境を提供していく必要があります。

こうした時代の要請に応えるため、東浦町では本大綱を改定し、教育行政の更なる充実を目指した明確な方向性を示すこととしました。改定に際しては、東浦町総合教育会議において教育委員会からの貴重なご意見をいただくとともに、町の長期的なまちづくりの指針である「東浦町第６次総合計画」を踏まえた取り組みも反映しています。そして、この大綱に盛り込まれる内容は、同計画の教育及び子育てに関する基本構想と基本計画を基盤としたものです。

今後も、この大綱に基づき、時代の変化や社会のニーズに柔軟に対応しながら、町の教育行政を積極的に推進してまいります。

本大綱が、未来を担う子どもたちの成長を支え、住民の皆さまが生涯にわたり健やかに学び続けられる環境づくりの一助となることを心から願っています。

2026 年２月

東浦町長　日　髙　輝　夫

1　東浦町が目指す学び

（1）主体的に課題に挑む学力の育成　～チャレンジ精神を育む～

子どもたちの個性や能力を尊重し、それぞれの違いに寄り添った指導を行うことが重要です。東浦町では、子どもたちが主体的に課題を見つけ、粘り強く取り組む力を育むことを目指します。また、仲間との話し合いを通して認識を深め、情報を精査しながら考えを形成する力を養います。さらに、創造性豊かな探究型の学びを推進し、子どもたちが未来で活きる力を身につけられる教育環境を整備します。

（2）生涯を通じて学び続ける町づくり　～人生 100 年時代へ～

健康寿命の延伸により長寿社会を迎えた現代では、すべての年代の方々が元気に活躍できる社会が求められています。「人生 100 年時代」を見据え、住民一人一人が健やかで自立した生活を送り、心身の豊かさを感じながら社会で活躍できる環境づくりを進めます。そのため、学びたいときに学べる生涯学習環境を充実させていきます。

（3）絆で紡ぐ地域の未来 ～学校・家庭・地域の連携と共創～

核家族化や地域のつながりの希薄化が進む現代において、子どもたちが幼少期から地域社会に関わり、多様な経験を積むことが重要です。その中で、自ら考え、行動し、問題を解決する力を育むことを目指します。この実現のため、学校・家庭・地域が連携し協力することで、地域全体で学びや育ちを支える環境を整備していきます。

2　基本方針

（1）子どもが主体的に学び、誰もが力を発揮できる教育環境の整備

社会環境や教育課題に対応し、町が目指す姿を実現するため、子どもが主体的に学び、すべての関係者が力を発揮できる教育環境づくりを推進します。教育委員会と連携し、子どもの学びへの意欲を高めるとともに、教育に携わる方々がその能力を最大限発揮できる環境を整備します。

また、教職員の働き方改革を進め、子どもたちが安心して伸び伸びと過ごせる学びの場を整備します。さらに、デジタルと対面の学びを効果的に組み合わせることで教育効果を最大化し、質の高い学びを提供します。これにより、多世代にとって魅力的な学校づくりを実現します。

（２）多様性を尊重した学びの保障と、自ら学ぶ力を育成

これからの社会を生き抜くためには、多様性を理解し、他者を尊重しながら協調する力が求められます。そのため、多様な価値観や背景を持つ方々との関わりを通じ、共に未来を築く姿勢を養う教育を推進します。さらに、子どもの個性や可能性を尊重し、主体的に学べる環境を整備します。

学校現場では、一律の教育手法にとどまらず、個別最適化された学びや協働的な学びを実現し、多様な教育活動を支援します。これにより、子どもたちは自己の価値を見出し、他者との共生を図りながら活躍する力を身につけます。

（３）すべての人が幸せと生きがいを感じられる地域づくり

人生 100 年時代を見据え、すべての人が心身ともに健康で豊かな生活を送るため、生涯学習を充実させ、多世代が楽しく学び、活動できる環境を整備します。

教育や地域活動を通じ、スポーツや健康づくりを含む幅広い学びを提供し、地域や企業等と連携して住民一人一人が「なりたい自分」を追求できる仕組みを構築します。これにより、生きがいを育み、幸福で豊かな人生を実現する地域づくりを目指します。

（４）自分らしく生きる力を育む学びの環境づくり

東浦町では、子どもたちが安心して学び、自分らしい未来を描ける学びの環境の整備に力を注いでいます。心身ともに健やかに成長できる教育環境の構築を進めるとともに、命の尊さや平和を愛する心を育む機会を提供します。これにより、地域社会への愛着や誇りを育て、ふるさとへの思いを深めていく教育を展開します。

さらに、デジタル技術を活用することで、新たな学びの形を創造します。テクノロジーを活用した学びの支援を充実させ、子どもたちが多文化共生社会に適応し、広い視野を持って未来を見据え、切り拓く力を育んでいきます。また、主体的に問題を解決しながら学べる環境を構築することで、生涯にわたって学び続ける基盤を整備し、多様性を尊重する価値観を育む教育を推進します。

（５）地域の資源や魅力を認識し、地元への愛着と誇りを育む教育を推進

東浦町には、徳川家康の生母「於大の方」の生誕地や縄文時代の「入海貝塚」、戦国時代に関連のある「村木砦」などがあり、歴史ある町としての重要な資源が数多くあります。これらの地域ならではの魅力を住民全員で学び、共有することで、ふるさとへの誇りや愛着を育む教育を推進します。

さらに、デジタル技術を活用し、町の伝統や文化、歴史の魅力を広く発信していきます。この取り組みにより、地域文化の価値を再認識し、地域への愛着や連帯感を高めることで「シビックプライド」を育んでいきます。また、住民全員が

東浦町の魅力を実感し、地域に根ざした人材を育成することで、「ずっと住み続けたい町」「誇れるふるさと」の実現を目指します。